

様式第4号（第5条関係）

平成27年 3月31日

古賀市議会議長

議員名 姉川 さつき



平成26年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 平成26年度政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
 - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
 - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
 - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成26年度政務活動費収支報告書

議員名 姉川 さつき

1 収入

政務活動費 120,000円

2 支出

項目	金額(円)	支出内訳書の番号
調査研究費	133,045円	1, 2, 3
研修費	3,500円	3
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
支出合計	136,545円	

3 残額 -16,545円

別紙2

平成26年度政務活動費支出内訳書

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備考
1	4月21~23日	・沖縄県那覇市 ・宜野湾市視察	37,200	
2	8月6~7日	・岡山県総社市 ・岡山市視察	28,785	
3	10月15日 ~18日	・北海道ニセコ町 ・札幌市女性会議	70,560	うち日本女性会議参加費及び資料代3,500円は研修費に計上
4				
5				
6				
7				
8				

※研修及び視察には報告書を添付のこと

番号 1

請求書

請求書No.: 00017910-004-02
発行日: 2014.04.05

姉川 さつき 様

ツアー名: 仰天!! SALE那覇3日間

出発日: 2014.04.21(月)

福岡県知事登録旅行業 第3種
ジョイトラベル有限
総合旅行センター
〒811-3103 古賀市中央1丁目
TEL: 092-943-1355 FAX: 092-943-1366
責任者: [Redacted]
取扱責任者: [Redacted]
担当者: [Redacted]

このたびは弊社をご利用いただきまして誠にありがとうございます。下記料金のご請求を申し上げますのでよろしくお願い致します。

合計	お預り金額	お振込金額
37,200円	0円	37,200円

No.	項目	単価	数量	金額	備考
1	那覇3日間(パーゴロイヤル那覇)	37,200	1	37,200	JTB国内パッケージ

備考

お振込先 [Redacted] 代表取締役眞武祐一
[Redacted] 代表取締役眞武祐一
お振込手数料についてはお客様にてご負担下さいませよろしくお願い致します。

本請求書により、前回までの請求書を無効とします。

イオ スケヒロ		ご一行様							
月/日	ご旅程	お食事							
4/21(月)	福岡 [07:20] → 沖縄/那覇 [08:55] JTA 0051便 普通 別紙 JAL eチケット控/航空引換証をご覧ください。								
4/21(月)	福岡 [07:40] → 沖縄/那覇 [09:20] ANA 0481便 普通 別紙 eチケットお客様控 (航空引換証) をご覧ください。								
4/21(月) ~ 4/22(火)	ホテルパームロイヤルNAHA (仰天SALE! 那覇 3日間 Bグループ)	チェックイン 14:00 到着予定時間 18:00	<table border="1"> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>朝</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	-	-	-	朝	-	-
-	-	-							
朝	-	-							
【旅・整A】									
4/22(火) ~ 4/23(水)	ホテルパームロイヤルNAHA (仰天SALE! 那覇 3日間 Bグループ)	チェックアウト 11:00	<table border="1"> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>朝</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	-	-	-	朝	-	-
-	-	-							
朝	-	-							
【旅】									
4/23(水)	沖縄/那覇 [13:30] → 福岡 [15:15] JTA 0054便 普通 別紙 JAL eチケット控/航空引換証をご覧ください。								
4/23(水)	沖縄/那覇 [20:05] → 福岡 [21:40] JTA 0062便 普通 別紙 JAL eチケット控/航空引換証をご覧ください。								

ご案内

◎各行程欄の記号ご説明

【旅】ご利用の際は施設にこの旅程表をご提示ください。
 【整A】エースJTB整理票【A】に記載された内容をご確認の上、該当の施設にご提出ください。
 ◎ご到着時間を変更される場合は、宿泊施設へご連絡ください。
 ◎この旅程表はお客様が旅行サービスの提供を受けるために必要です。旅行中は必ず携行の上、必要に応じて係員にご提示ください。◎悪天候等によりサービス内容の変更を必要とする事由が生じた場合、代替手配等必要な手続きはお客様自身で行っていただきます。◎パンフレット(おおすすめポイント枠内)に宿でのおもてなしの記載があり、ご利用を希望される場合は現地宿にてお申出ください。
 ◎別紙『ご旅行にあたっての注意事項』を併せてご覧ください。BOX#83000
 【航空機(IIT)ご利用のお客様へ】
 同日乗継ぎ行程のある場合は、出発空港の有人カウンターにて最終目的地までのご搭乗手続きをしてください。
 【福岡空港よりご出発のお客様へ】
 別紙『福岡空港旅行者専用駐車場利用割引のご案内』をご覧ください。BOX#83001

ご利用案内

4/21 仰天SALE! 那覇 3日間 Bグループ (17KZ013-B)
 那覇(8715-049) 代表者氏名: イオ スケヒロ様
 ~2泊 ホテルパームロイヤルNAHA
 セミダブル
 1泊朝食 セミダブル 5室 (バス・トイレ付)
 人員: 大人 5名
 住所: 那覇市牧志3-9-10
 電話: 098-865-5551
 交通: 【公共交通機関利用】那覇空港→モノレール首里方面行約16分牧志駅下車→徒歩約3分
 またはタクシー約30分

SUXEJH-01
 TUXEJH-01

《会派視察行程表》

* 8月6日(水)から7日(木)まで

・参加議員 (飯尾、船越、姉川、西尾、芝尾)

【8月6日(水)】

- ・古賀8:32発ー博多8:52着
- ・博多9:29発ー岡山11:13着【のぞみ18号】
- ・岡山発11:22ー総社12:04着【JR吉備線】

- ・総社市職員の車でサンロード吉備時路(昼食)
- ・昼食後、職員の案内で障がい者の働く店を見学。

* 14:00 総社市役所行政視察

- ① 障がい者の1000人雇用について
- ② 新生活交通「雪舟くん」について

- ・総社16:51発ー岡山17:28着【JR伯備線 備前片上行き】
- ・岡山駅直結(ホテルグランビア宿泊)

【8月7日(木)】

- ・ホテル朝食後ロビー10:00集合
- ・岡山駅西口徒歩5分

* 10:30 奉還町商店街視察

- ・昼食

* 13:30 岡山県立図書館視察(岡山市北区丸の内2-6-30)

- ・岡山17:31発ー博多19:14着【のぞみ39号】

番号 2

領 収 証

No. 436637 I

RECEIPT

平成26年7月24日

ご氏名 柿川 三三 様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を修正したものは無効とします。

金額 ¥28,785.-

ただし 8/6 同山(1) 旅行代

上記金額正に領収いたしました。

- 1. 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(VISAカード)
- 5. その他()

30,000円以上

収入印紙

株式会社 旅行 中洲川端 営業本部 支店

NIPPON TRAVEL SERVICE CO., LTD.

担当者印

責任者印

柴尾 様

ご予約内容のご案内



この度は、日本旅行 中洲川端支店をご利用いただきましてありがとうございます。
ご旅行の内容は下記の通りです。ご確認くださいませ。

<コース名>	予約番号
山陽・四国・山陰フリー&ビジネス	061559273

●交通

日付	出発地	到着地	列車名	出発時間	到着時間	
8/6(水)	博多	岡山	のぞみ20号	10:05	11:48	
8/7(木)	岡山	博多	のぞみ39号	17:31	19:14	

●宿泊

日付	泊数	地区名	ホテル名	食事	室タイプ	室数
8/6(水)	1	岡山	ホテルグランヴィア岡山	朝	シングル	5

●旅行代金

内訳	金額	人数	合計
大人	28,800 円	5	144,000 円
JAF割引	▲ 1,440 円	5	▲ 7,200 円
		4	
ご請求額			136,800 円

<お支払済>

◇参加者(5名)

- ①シバオ イクエ様
- ②アネガワ サツキ様
- ③イイオ スケヒロ様
- ④ニシオ コウジ様
- ⑤フナコシ ヨシアキ様

※7/16(水)18:30以降のご変更・お取消しにつきましてはキャンセル料が発生致します。

【お問い合わせ】

日本旅行中洲川端支店
〒810-0801
福岡県福岡市博多区中洲5丁目1-1(日本旅行ビル1F)
☎092-271-5066 FAX092-271-5158
営業時間 平日10:00~18:30(土日祝日休業)
ホームページ <http://www.nta.co.jp> Eメール fukuokatr_center@nta.co.jp

2014/6/4

予約番号	061559273
コース名	14上期 山陽・四国・山陰フリー&ビジネス (3840077001)
代表者氏名	芝尾 郁恵 様 御一行 5名
ご旅行期間	2014年08月06日(水)～2014年08月07日(木) 2日間

日程		便名/地区
01	8/6(水) ホテルグランヴィア岡山 シングル1名 先21 朝食付 シングル(禁煙) (5室)	岡山

■お楽しみメニュー

8/6(水)	ホテルグランヴィア岡山 * お部屋に朝刊をご用意(休刊日を除く)
--------	-------------------------------------

■ご宿泊施設名

岡山	ホテルグランヴィア岡山 岡山市北区駅元町1-5 TEL: 086-234-7000 FAX: 086-234-7099 email: front-dp@granvia-oka.co.jp URL: http://www.granvia-oka.co.jp/ 標準チェックイン 14:00 標準チェックアウト 12:00
----	--

■宿泊ご利用案内

<ul style="list-style-type: none"> ・ お宿にお着きになりましたら、お手持ちの赤い風船宿泊券をフロントにお出しください。(宿泊券がない商品は日程表をご提示ください。) ・ 出発日当日に参加人数が減った場合は、ホテル・旅館にて「不泊証明書」をお受けください。旅行終了後お申し込みの販売店にて精算いたします。 ・ ご利用いただいたホテル・旅館にて宿泊料金のみ領収書は発行できませんので予めご了承ください。 ・ 「お楽しみメニュー」がついているホテル・旅館では、基本的に夕食時又はフロント又はお部屋にご用意しております。万が一ホテル・旅館が用意をしていなかった場合は、ホテル・旅館の係員までお申し付けください。(「お楽しみメニュー」が付かなかった場合の、旅行終了後の取扱いはいたしません) ・ パンフレットに記載のお子様向け「お楽しみメニュー」は、こどもの宿泊代金をお支払いいただいた方のみとなります。(幼児は対象外となります。) ・ お申し込み後ご旅行をお取消または人数が減る場合必ずお申し込み箇所へ営業時間内にお申し出ください。(営業時間外の場合は、宿泊施設に直接電話連絡をしてください。)

■取扱店

中洲川端支店 5066 TEL: 092-271-5500	58 FAX: 092-272-5187
----------------------------------	-------------------------

■旅行企画・実施

(株)日本旅行 赤い風船九州事業部

領 収 証

No. 436455 I

RECEIPT

平成 26年 5月 26日

ご氏名 市川 さつき 様

番号

3

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額 ￥59,660.-

ただし 10/15 北海道

伊豆観光ホテル 宿泊代

上記金額正に領収いたしました。

- 1. 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(クレジットカード)
- 5. その他

30,000円以上

収入印紙

株式会社 旅行

中洲川端 営業本部 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

担当者名

A - 314554

領 収 証

平成 27年 3月 30日

ご氏名 古賀市議会 市川 さつき 様

金額 ￥ 3,500.-

消費税 ¥ 円を含む

ただし 日本女性会議 2014札幌

参加費として(昼食并当代除く)

- 1. 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込 (7/28)
- 4. デビット
- 5. クレジット(カード)
- 6. ギフト
- 7. その他

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 日本 北海道

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

札幌 支店

収入

印紙

<ご注意>
本証に、住所名、電話番号、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは、無効とします。

担当者名

ご請求明細書
Amount Description



番号
3

ワン・ニセコ・リゾート・タワーズ
TEL 0136-50-2111
FAX 0136-50-2100

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	人数 Pers	ご利用日 Date
902	姉川 Mr. Ms. 姉川 様	1	14.10.15 - 14.10.16(1泊)

日付 Date	摘要 Description	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
10.15	ご宿泊代(AAB60)	7,250		
10.15	入湯税	150		
10.16	チェックアウト精算(クレジット)		CC 7,400	
小計 Sub Total		7,400	7,400	

(内消費税 Con.Tax ¥536)

ご請求額 Balance Due	
ご返金額 Refund	

誠に勝手ながらサービス料として、お勘定の10%及び規定の税金を加算させていただきます。

1 三井住友VISAカード

ご署名
Signature

会社名
Firm

No. 201410160012

発行日 2014.10.16

2017 CC 1

ワン・ニセコ・リゾート・タワーズ

www.oneniseko.com

(1/1)

領収書

Receipt

No. 201410160012

2014.10.16

姉川
姉川 様

¥7,400

上記正に領収致しました

(内消費税 Con.Tax ¥536)

但、クレジット分 ¥7,400 を含みます クレジット払い

PAID BY CREDIT

〒048-1511 北海道虻田郡ニセコ町ニセコ455-3

TEL 0136-50-2111 FAX 0136-50-2100



北海道視察行程表 (平成26年10月15日(水)～18日(土))

*参加議員・・・助村千代子(志免町議) 岡本陽子(宗像市議)

姉川さつき、芝尾郁恵

*10月15日(水)

- ・福岡空港(11:15)～新千歳空港(13:25)
- ・レンタカー(14:00ホンダレンタリース北海道新千歳空港店)

ニセコへは約2時間

- ・宿泊【ワン・ニセコ・リゾート・タワーズ(0136-50-2111)】

*10月16日(木)

- ・ニセコ町役場視察(10:00～12:00)

視察内容【ニセコ町のまちづくり全般について

予算説明書、財政の住民への公開について】

- ・レンタカーにて、札幌(約2時間)・宿泊【札幌シェラトンホテル】

*10月17日(金)札幌コンベンションセンター

- ・日本女性会議参加(13:00～)・宿泊【札幌シェラトンホテル】

*10月18日(土)札幌コンベンションセンター

- ・日本女性会議参加(9:30～) *参加費(4,500円)

- ・千歳空港(14:45)～福岡空港(17:15)

*日本旅行チケット(59,660円) *ニセコホテル(7,400円)

ニセコ町行政視察申込書

視察団体名	福岡県女性議員の会	視察人数	4人	
視察希望日	10月16日(木)	視察希望時間	10時0分～12時0分	
視察内容	・ニセコのまちづくり全般 ・「もっと知りたい今年の仕事」ニセコ町予算説明書及び財政の住民への公開について			
視察者名簿 ※別紙可	役職(会派)	氏名	役職(会派)	氏名
	志免町議	助村 千代子		
	宗像市議	岡本 陽子		
	古賀市議	姉川 さつき		
	古賀市議	芝尾 郁恵		
連絡先	担当者職氏名	芝尾 郁恵		
	電話番号	[REDACTED]	FAX	[REDACTED]
	メールアドレス	[REDACTED]		
町内宿泊先	ワン・ニセコ・リゾート・タワーズ	宿泊日	10月15日	
視察行程 ※別紙可	15日・福岡空港—新千歳空港—レンタカー—ニセコ宿泊 16日・ニセコ町視察 - 札幌市内宿泊 17日～18日・日本女性会議参加 *連絡先【芝尾郁恵・携帯 [REDACTED]】 ※視察日前後の行程及び視察行程中の連絡先をご記入ください			
その他連絡事項				

ニセコ町記入欄※記入しないでください

受入対応担当者		視察会場	
視察受入日	月 日 ()	視察時間	時 分～ 時 分

チェック項目 会場予約 イントラ入力 エクセル入力

行政視察に関する問合せ

企画環境課課広報広聴係 担当 馬淵、谷井

TEL : 0136-44-2121 / FAX : 0136-44-3500

E-mail : koho@town.niseko.lg.jp

参考様式

支出内訳書の番号 1-A 調査研究報告書	
1 名称	沖縄県那覇市保育施設総合情報サイト「ナハノホイク」視察
2 目的	那覇市内の公立、私立の認可・認可外の保育施設等の情報を発信するサイトの設置について視察するため
3 実施時期	平成26年4月21日(月) 13時30分～15時
4 実施場所	那覇市役所
5 参加者	船越、飯尾、姉川、西尾、芝尾
6 その他	認可外の保育施設まで発信するところが、特徴的。子育て支援の情報が、すべてワンクリックでわかるなど先進的な取り組みである。(別紙報告書あり)

【視察報告書】

平成26年5月5日

○視察日

平成26年4月21日(月) 13:30～15:00

○視察地

沖縄県那覇市役所

○視察対応者

那覇市こどもみらい部こどもみらい課 主幹 武元清一氏

○視察目的

保育施設総合情報サイト「ナハノホイク」について学ぶ

○参加者

西尾耕治、松越義彰、飯尾助広、姉川さつき、芝尾郁恵

○視察内容

待機児童問題を抱える那覇市が、認可外保育所を含む市内の保育園や幼稚園の基礎情報をインターネットで公開し、保育施設を探す保護者らに提供するという、保育施設総合情報サイト「ナハノホイク」を開設した。サイト開設の効果や課題について調査する。

1、那覇市の保育所施策の概況と待機児童の状況

① 那覇市の保育所と待機児童待機児童 (平成25年4月1日時点)

公立保育所・9か所 ・定数783人 ・入所者数739人・待機児童49人

私立認可園・61か所・定数6,189人・入所者数6486人・待機児童391人

認可外保育園・91箇所・定数—・入所者数4318人

*公立保育園は32園(小学校に併設)私立幼稚園6園

②待機児童数の比較

*人口10万人あたりの待機児童数は、中核市で全国1位

(全国平均12,5人—那覇市135,8人)

2、「ナハノホイク」・保育施設情報総合サイト設置運営事業について

①事業概要—条件による絞り込み、所在地のマッピング、保育料金帯や保育の特徴など、現在、ほとんど提供されていない認可外保育所の情報を中心とした保育所情報を積極的に提供することで、保護者の保育所選びの俎上に載せていくことが重要と考え、このような機能を備えた保育情報総合サイトを運営することとした。

②一括交付金を活用した事業費は2500万円。検索や絞り込みなどの機能を備えたサイト開設に約3割、掲載する取材費などに約5割、その他一般管理費などに約2割を充てる予定。プロポーサル方式を経た随意契約

3、この施策を取り入れたきっかけ経緯は

・保育施設探しの相談は、役所の窓口に来られる方が多いが、役所が提供できるのは主に認可保育所の情報に限られていた。市内には90か所もの認可外保育所があり、現に4000人が保育を受けている。

そこで、認可・認可外を区別せず、市内の保育施設についての情報を提供できればと考えたが、市が保有している情報も十分ではなく、インターネット上でも散在している状況だった。そのような中、一括交付金を活用した事業提案で、サイトの開設が採択され保育施設総合情報サイト「ナハノホイク」が開始された。

4、地元の関連する団体（保育所連合会等）との協議状況は

・サイトの情報は、各施設への、直接取材によって収集されることから、協力を得られる事が前提とされる。このため、認可園の園長会にはH25年10月頃から、情報を提供して周知を図った。認可外施設に対しては、11月の制度説明会とあわせてPRをかねた事前周知を行った。

5、効果、市民等の反響、使用状況について

・平成25年度に実施された「こども・子育て支援制度に関するニーズ調査」においても、「どこにどんなサービスがあるとか、誰に相談していいのかわからない」といった意見があったが、ほぼ、このサイトで対応できるようになり、有効性はあると思う。開設日に約100人、その後は平均50人の訪問があるが、今後周知、PRが課題と考える。

(まとめ)

民間の保育情報は口コミが中心なので、情報が偏ったり個人の主観が入ったりと、情報が多くても判断が難しいという保護者の悩みが多いということから、こどもみらい課の職員が実態調査を行うことから始めた事業です。幼稚園の預かり保育や届出保育所の情報なども入っており、保育に関して必要な情報がすべてこのサイトに集約されています。

今の若い保護者はネット検索に慣れており、便利で利用しやすい事業だと感じました。古賀市は待機児童ゼロを掲げておりますが、子育てに関する情報や相談などもワンクリックで検索できれば便利で喜ばれ、保育環境の活性化も期待できるのではないかと思います。

以上

参考様式

支出内訳書の番号 1-B	
調査研究報告書	
1 名称	沖縄県宜野湾市「シルバーパスポート事業」視察
2 目的	高齢者の引きこもり等を防止するため外出を促進し、健康づくり・生きがいづくりに繋げていく施策を視察するため
3 実施時期	平成26年4月22日(火) 10:00~11:30
4 実施場所	沖縄県宜野湾市市役所
5 参加者	船越、飯尾、姉川、西尾、芝尾
6 その他	説明して頂いた、担当の男性職員は保健師の資格を有し、わかりやすい内容であった。(別紙報告書あり)

視察報告書 ①

平成 27 年 4 月 11 日

○視察日

平成 26 年 4 月 22 日 (火)

○視察地

沖縄県 宜野湾市役所

○視察対応者

宜野湾市役所 議会義務局長 宮城治氏

宜野湾市役所 健康推進部 介護長寿課 長寿支援係 長濱直樹係長 (保健師)

○視察目的

高齢者の閉じこもりを防止し、社会参加の機会を促進し、多くの方に「元気高齢者」となってもらえることを目的とした、宜野湾市シルバーパスポート事業について学ぶため。

○参加者

西尾耕治、芝尾郁恵、
船越義彰、飯尾助広、姉川さつき、

○視察内容

高齢者の地域における活動、老人クラブ活動・スポーツ、趣味及び文化活動等の社会参加の機会を更に推進するために、市内に住所を有する満 65 歳以上の方々に「シルバーパスポート (カード)」を交付し、公共施設利用料の免除・減免、各種行事、市内民営諸施設等への利用割引事業を実施されています。

また、満 75 歳以上の方には市内の民営施設において利用できる「シルバーパスポート利用割引券」を交付し、健康づくりや体力向上を推進しているということでした。

①パスポートカード

対象者：65 歳以上

内容：公共施設利用料の免除あるいは減免と、市の主催の各種イベントの割引、民間施設での割引など。

②クーポン券

対象者：75歳以上

内容：体力づくり関連事業所、健康づくり、身だしなみ関連事業所等の協力事業所での利用割引。

交付方法

- ・シルバーパスポート（カード）は、65歳到達者へ通知文とともに送付。
- ・利用割引券（クーポン）は、年度初めの4月に75歳以上の対象者へ一斉に通知書を送付し、自治会事務所（23区）・市役所の窓口にて受け取り。
- ・クーポン券は毎年度発行とし、有効期限付きの12枚綴り。

予算内訳

- ・この事業を始めるにあたり、まず80歳以上の方に支給する敬老祝金を廃止。
平成25年度（当初）17,319千円（消耗費、印刷製本費、役務費、利用助成金）
（12、3月補正）199千円
平成26年度（当初）17,318千円

利用状況

- ・事業所より回収をしたクーポン券で請求を受ける。クーポン券にはNO,を印字し、利用状況を管理しているということでした。

平成25年度

（パスポートカード）

対象者：15,202人

交付人数：14,902人

交付率：98.0%

（クーポン券）

対象者数：7,508人

交付人数：3,408人

交付率：45.3%

シルバーパスポート協力事業所数：8カ所

シルバークーポン券協力事業所数：77カ所

○まとめ

古賀市においても、高齢者外出促進事業はすでに取り組んでおり、市の行事から地域のイベントへの参加でもポイントがつく等、年々改良が加えられてきていますが、宜野湾市ではクーポン協力として民間の事業所が参加をしていることが、大きな違いがあると感じました。予算が課題であると思いますが、利用が増え、企業・店舗イメージがアップする等、双方にメリットがあるということで協力が頂けないものかと思いました。

課題としては、協力事業所の業種の多様化でカードの利用機会を広げることや、高齢化率を見ながら、この事業の評価・分析の手法も必要であると感じました。

以上

参考様式

<u>支出内訳書の番号 1-C</u>	
調査研究報告書	
1 名称	沖縄県那覇市 首里公民館
2 目的	公民館事業と地域コミュニティについて、地域を巻き込んだイベントや事業で活性化を図っている状況を視察するため
3 実施時期	平成26年4月22日(火) 13:00~14:30
4 実施場所	沖縄県那覇市 首里公民館
5 参加者	船越、飯尾、姉川、西尾、芝尾
6 その他	首里公民館は、施設も充実しており、地域を巻き込み活発な活動が行われていた。(別紙報告書あり)

視察報告書

平成26年5月7日

1、視察日

平成26年4月22日

2、視察地

沖縄県那覇市 首里公民館

3、視察対応者

館長 比嘉徳広

4、参加者

飯尾助広 西尾耕治 船越義彰 姉川さつき 芝尾郁恵

6、視察目的

公民館活動について

7、視察内容

①那覇市首里公民館の概要

- ・ 那覇市にある7箇所の公民館のうち3番目に建築され開館31年目を迎える。市内の公民館で一番大きく、大ホールも一番広い。
- ・ 第66回文部科学省優良公民館表彰を受賞（2回目）
- ・ 定期利用団体92団体、市内の公民館で2番目に多い。
- ・ 常設の学習スペースを2ヶ所あり、公民館併設、公民館講座用に畑を備えている。
- ・ 職員体制 館長を含め5名体制
休館日 国民の祝日、慰霊の日（6月23日）、年末年始
開館時間午前9：00～午後10：00

②公民館活動（年齢にあわせた講座がおこなわれている）

- ・ 成人講座 「琉球ヒストリー」ほか1講座
- ・ 市民講座 「海の日記念 親子ふれあい」ほか3講座
- ・ 乳幼児学級「こっこママクラブ」
- ・ 高齢者学級「守礼大学 移動セミナー」ほか1講座
- ・ 青年のための講座・交流事業 「多様な性を学ぶ」
- ・ 家庭教育学級「子どもの世界をのぞいてみよう」
- ・ 親子ふれあい教室「親子で畑人 ジャガイモを育てよう」

③地域交流

- ・ 夕涼みまつり サークルと地域との交流
- ・ 公民館まつり 前夜祭 ダンスパーティ 展示発表会
小学生の総合学習発表、健康相談コーナー
フォークダンスのつどい カラオケのつどい

参考様式

支出内訳書の番号 1-D	
調査研究報告書	
1 名称	沖縄県那覇市 那覇商工会議所視察
2 目的	東京での講演会をライブ中継する「夕学（せきがく）講座」、その他の事業で地域経済の活性化を図っている状況を視察するため
3 実施時期	平成26年4月22日（火）15:30～16:00
4 実施場所	沖縄県那覇市 那覇商工会議所
5 参加者	松越、飯尾、姉川、西尾、芝尾
6 その他	那覇商工会議所は観光、建設部会が多く、古賀市のようなものづくり（工業系）が少ない状況であった。（別紙報告書あり）

那覇商工会議所事業視察報告

平成26年4月22日(火)

総務部 福地次長より説明を受ける。3700名の会員で構成、9部会で活動、中でも、観光サービス部会・建設部会・小売業部会が主になっており、工業(ものづくり)が弱いのが課題。

続いて今回のメインテーマの「夕学講座(せきがくこうざ)」について説明を受ける。10年ほど前から、民間の研修機関 慶応丸の内シティキャンパスによって、東京で講演会が行われており、それをライブでインターネット配信で、商工会の中で放送するもの。年間16本ほど開催。同時中継のため地理的な状況を克服し、那覇市からの助成もあり。18時30分から始まり約2時間、講演の終了後にFAXで質問も出せる。平均20名が参加。100名まで受け入れ可能。受講料は1講演に1000円。年間25万ほどの経費が掛かる。録画は不可。臨場感があるとの感想。

その他事業として、成人病検診への支援・啓発なども行っている。大きな事業としては、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の策定に参加、那覇空港滑走路増設の早期着工の働きかけ、那覇港湾の整備促進、読売巨人軍那覇協力会活動の推進、沖縄科学技術大学院大学の

開学に向け周辺整備の要請活動などを県と協力しながら行っており、地元の那覇市役所や市議会とはあまり交流は無いとのこと。

場所柄、観光協会のほうが勢力は強く、台湾との交流が深いとのこと。改正沖縄振興特別措置法が4月1日より施行され、影響はあり、プラスにはなるとのこと。

古賀市でこの夕学講座の開催は可能だとは思われるが、スケールメリットを考慮すれば、近隣の商工会との共同事業にした方が面白いのではと考える。特に若手経営者の所属する青年部が中心となって進める方がよいのではとも思った。また、市役所の若手職員にも自己啓発の観点から参加を促すことも、人材育成の意味でも面白いのではと感じた。

参考様式

支出内訳書の番号 2-A	
調査研究報告書	
1 名称	岡山県総社市視察
2 目的	障がい者千人雇用について視察するため
3 実施時期	平成26年8月6日(水) 14:00~15:00
4 実施場所	岡山県総社市役所
5 参加者	船越、飯尾、姉川、西尾、芝尾
6 その他	障がい者を1000人雇用する目標を定め、着実に成果をあげている現状を知ることができた。(別紙報告書あり)

視察報告書

平成 27 年 4 月 | 日

○視察日

平成 26 年 8 月 6 日 (水)

○視察地

岡山県 総社市

○視察対応者

保健福祉部次長 (福祉課長) 渡辺節夫氏

保健福祉部福祉課主幹 弓取克哉氏

保健福祉部福祉課障がい福祉係主事 吉田裕司氏

○視察目的

総社市「障がい者千人雇用」の、短期間で大きな成果を上げている事業について学ぶ。

○参加者

西尾耕治、芝尾郁恵、
船越義彰、飯尾助広、姉川さつき

○視察内容

障がい者千人雇用のきっかけとなったのは、平成 22 年に新設の県立支援学校誘致のために、2 万㎡を無償提供するも倉敷市に決定したことから、学校を卒業した後の就職は総社市で担う、という考え方にシフトしたそうです。

千人という考え方は、総社市には 18 歳以上 60 歳未満の障がい者数は 1,187 人ですが、その内重症な方も含むため 1,187 人の内の千人に平成 27 年度までに、就労の場を総社市内につくるという目標を持ったことから、そのまま事業名としたそうです。

○「障がい者千人雇用」の現状

千人とするカウント基準は、

- ①市内の事業所に就労をしている障がい者。
- ②市外の事業所に就労をしている市内在住の障がい者
- ③就労支援ルームを通して、市の取り組みに基づき就労している障がい者。

平成 23 年 4 月	就労者数	180 人
平成 25 年 7 月	就労者数	618 人
平成 26 年 7 月	就労者数	773 人

取り組み (1)

・総社商工会議所を含めた企業関係者、障がい福祉の専門家等で構成された「障がい者千人雇用委員会」を、委員 17 名で平成 23 年 5 月に設置し、同年 8 月には中間報告書を取りまとめ、

- ① 障がい者に対する知識の不足
- ② 障がい者への就労・生活支援体制の不足
- ③ 障がい者を雇用する企業等の事業者の不足

上記 3 点について課題解決すべきと指摘を行ったそうです。

取り組み (2)

・障がい者千人雇用推進条例の制定・施行(平成 23 年 12 月)し、基本理念、市・事業主・事業主団体の責務と市民の役割、施策の基本的事項、推進体制等が明確となった。

取り組み (3)

・市民の方に障がい者雇用をアピールする為に、総社市保健福祉大会を平成 25 年 1 月に開催し、当時の厚生労働省社会・援護局長の村木厚子氏が基調講演を行った。さらに平成 26 年 5 月には総社市障がい福祉シンポジウムを開催し、社会活動家の湯浅誠氏を招いての講演会を行った。

・広報活動により、障がい者雇用をアピールするために、市の広報誌「広報そうじゃ」において、表紙や特集など障がい者雇用に関するものを、前面に出してアピールを行っている。

取り組み (4)

・平成 23 年 10 月

総社商工会議所との協定書を締結し、雇用意識調査や各種助成制度の周知やセミナーを実施。

・市が主催し、総社地区雇用開発協会、ハローワーク、商工会議所との共催による就職面接会を実施し、障がい者と企業の出会いの場を提供した。

(3 回の開催で、28 人の就労に結びついた)

・平成 23 年 7 月より、ハローワーク総社との連携による就労支援ルームを運営し「福祉から就労」に向けて、ワンストップでの支援を実施。

(3 年間で 316 人の障がい者が就職)

・平成 24 年 4 月に、総社市障がい者千人雇用センターを設置をして情報を集約し、当事者・企業・ハローワーク等の橋渡し役を果たしている。

まとめ

この事業は市長のトップダウンだそうですが、わずか3年という短期間で目標まであと僅かという成果を上げておられるのには大変刺激を受けました。担当の職員は6年目ということで専門性を持ち、障がい者の雇用に関して市内企業の法定雇用率と達成しているかどうか、労働局の力を借りてすべて把握をしておられました。情報を持ち、雇用主に働きかけをしたり広報誌で積極的に周知をしたりと、本気度が伝わる説明でした。古賀市においても障がい者の雇用は取り組まれてはおりますが、関係機関との連携などは総社市に学ぶところが大変多いと思いました。

参考様式

支出内訳書の番号 2-B	
調査研究報告書	
1 名称	岡山県総社市視察
2 目的	新生活交通「雪舟くん」(デマンド型公共交通システム)について視察するため
3 実施時期	平成26年8月6日(水) 15:10~16:30
4 実施場所	岡山県総社市役所
5 参加者	船越、飯尾、姉川、西尾、芝尾
6 その他	交通利便性向上に向けた、「雪舟くん」(デマンド型公共交通システム)の課題と現状について学んだ。(別紙報告書あり)

【視察報告書】

平成 26 年 8 月 15 日

○視察日時

平成 26 年 8 月 6 日（水） 15：00～16：10

○視察地

岡山県総社市は、岡山県の南西部に位置する総面積 212 km²、人口約 6 万 7 千人（高齢化率 24.6%）の歴史に培われた吉備文化と高梁川など自然豊かな市。

○視察対応者

市民環境部人権・まちづくり課、安全安心係主任 仁科 茂樹氏

○視察目的

交通不便地の交通網の充実など、大きな効果がみられる事業「新生活交通雪舟くん」について学ぶ。

○参加者

西尾耕治、船越義彰、飯尾助広、姉川さつき、芝尾郁恵

○視察内容

・総社市では、利用者が年々減少していた路線バス事業者への路線維持のための補助金の交付や、タクシー券の交付など移動手段の確保などに取り組んできたが、高齢化が進む中、既存の路線バスなどでは補完できない交通不便地もあり、交通弱者の移動手段の確保と抜本的な見直しが求められていた。

そこで、新たな交通体系を総社市地域公共交通会議や市議会で調査検討、協議を重ね平成 23 年 4 月から、生活密着型の交通手段として予約型で乗合方式の総社市新生活交通「雪舟くん」を導入することになった。

1、「雪舟くん」導入までの経緯

- ・平成 17 年 3 月 1 市 2 村の合併後も、路線バスについては現行のまま新市に引き継ぎ、路線の維持確保に努める方針を出し、路線バス等対策協議会を設置し、バス路線等のあり方の大綱を市長に答申
- ・平成 18 年度 バスの利用促進の啓発活動等の実施
- ・平成 19 年度 市内循環バスのルート変更、停留所の移設
総社市高齢者バス・タクシー助成事業の実施
- ・平成 21 年度 コミュニティバス「こまわりくん」の導入
*高齢化率の高い 2 地区 4 路線で運行
- ・平成 22 年 3 月 新交通システム調査特別委員会の設置
- ・平成 22 年 6 月 6 月議会で市長がデマンド交通導入を表明
- ・平成 23 年 3 月 「雪舟くん」試行運行実施

・平成23年4月 「雪舟くん」本格運行開始 現在に至る。

2、交通体系の見直し方針

①公共交通空白地の解消

市内全域を「面」でカバーできる公共交通の実現

②高齢者等の移動手段の確保

地域公共交通に不便を感じている高齢者が、市内の買い物や通院に利用しやすいサービスの提供

③行政経費の見直し

現在の地域公共交通の対策等にかかっている予算範囲内での見直し

3、「雪舟くん」の概要

- ・運営主体は総社市で、運行事業者はタクシー事業者5社とバス事業者2社と委託契約を結んでいる。
- ・運行方式は原則ドアツードアで車両は10人乗り4台と8人乗り5台のワゴン車、車両購入代金は合併特例債を利用した。
- ・運行エリアは市内全域とし、東部、西部、昭和、池田の4エリアと総社駅と市役所を結ぶ共通エリアを設定。
- ・各路線の中で運行距離の長い路線は約20km、所要時間4,50分。
- ・平日のみの運行（8時便から16時便・1時間ごとの運行）
- ・利用者は登録制とし、予約は、1週間前から1時間前まで市庁舎内で、オペレーターが受ける。
- ・運賃は300円、1回乗車ごとに50円のタクシー助成金券を配布。タクシーの利用促進に繋げている。

4、「雪舟くん」の利用状況（人口67,577人）

- ・利用者登録数は、平成26年3月現在、14,487人登録率21,4%
- ・一日平均延利用者数は、250から260人、金曜日は280人を超える。
- ・年代別利用者数は、80歳代が40,1%、70歳代が28,1%
60歳台未満が26,9%。
- ・利用目的は、病院画約40%、商店（買い物）が約30%。

5、「雪舟くん」の導入前後の交通体系と予算

- ・「雪舟くん」導入前の平成22年度予算は、高齢者バス・タクシー料金助成事業（3900万円）・路線バス市内4路線（1550万円）・路線バス広域4路線（610万円）・コミュニティバス4路線（244万4千円）・山手ふれあいタクシー（128万7千円）
平成22年度 合計6433万1千円

・導入後の平成23年度予算は、「雪舟くん」に【3988万5千円（収入1775万円・支出5763万5千円）】高齢者バス・タクシー料金助成事業（3900万円）は

廃止し「いきいきチケット」事業（300万円）のみに。

路線バスのうち、市内3路線を減便、1路線を廃止の結果（805万円に減額）路線バス広域4路線は現行のまま継続（570万円）コミュニティバスは廃止、山手ふれあいタクシーは、名称を変更し継続（114万1千円）

平成23年度 合計5832万6千円

・平成26年度「雪舟くん」の予算

【(収入1640万支出7019万2千円) 5379万2千円】

6、「雪舟くん」の予約センター

・予約センターは、総社市役所内に設置され、臨時職員午前5人、午後3人体制で、電話で受け付ける。電話番号で、名前、場所がパソコン上に表示・特定されるシステムを導入しており、乗車日時、乗車と降車場所を確認し受付完了となる。この予約センターは経費は約1000万円。

○視察の感想

・この事業は、市長のトップダウンで平成22年に新交通システム調査特別委員会を設置し、平成23年度4月に「雪舟くん」を本格的に運用開始したそうです。

「100%を求めるより50%でも困った市民の声に急いで応える。課題は運用しながら改善していく。」という考えからスピーディに事業を立ち上げたという説明に驚かされました。さらに住民のニーズに応えられる様に、運行についての意見や要望を毎年募り、改善を続けています。

平成25年度のアンケート「雪舟くん」の運行により生活が便利になったかという問いに、非常に便利になったとの回答が79%、少し便利になったが18%とほぼ、全員が年々利用しやすく改善されていく「雪舟くん」を大切に育てようと感じているように思いました。一方、雪舟くんの評価に対しては、まだ、約17%の方が良くないとの回答もあり、これからも多くの市民に更に利用しやすく改善されるであろうと期待したいと思います。

「今後も、雪舟くんを中心とした交通体系をさらに充実させ、利用者を増やしたい」「利用者が増えれば費用は、かさむかもしれないが高齢者の外出を促進させることで、心身共に健康になり、結果として介護や医療費の削減につながる」と説得力のある言葉で、担当の職員が熱心に説明をして下さいました。

古賀市では今年度から、市民・有識者も入った公共交通活性化委員会を設置し、市の現状を踏まえた交通体系に関する調査研究がおこなわれています。市民のニーズに応えるためにしっかりと調査をし、西鉄バスへの補助ありきではなく、真に市民が活動しやすい交通体系の構築が進む様、今後の活性化委員会に期待したいと思います。

スピード感と、その後の検証、改善を続ける総社市の姿は素晴らしく、古賀市が見習うべきところが大きいと感じました。

以上

参考様式

支出内訳書の番号 2-C 調査研究報告書	
1 名称	岡山県岡山市 奉還町商店街振興組合視察
2 目的	商店街のにぎわいづくりと空き店舗対策について視察するため
3 実施時期	平成26年8月7日(木) 10:30~12:00
4 実施場所	岡山市北区奉還町2丁目「奉還町りぶら」
5 参加者	船越、飯尾、姉川、西尾、芝尾
6 その他	岸理事より詳細説明を受けた後、商店街内も見学させていただいた。(別紙報告書あり)

岡山市奉還町商店街振興組合視察

平成26年8月7日（木）10時30分～12時

商店街のにぎわいづくりについて

はじめに、岸理事長より、商店街の概要、歴史、名前の由来、御自身が北九州大学卒業であることなども含めてあいさつがあった。そして本題である内容の説明に入った。

岡山市内の三つの商店街の中でも下町の雰囲気があること、近年の郊外の大型スーパーや大型専門店の増加、職種がドラッグストア・チェーン店化、飲食店の増加などの要因、後継者不足・若者離れ・経営者の高齢化の問題、倉敷市の大型のイオン・アリオ・三井アウトレットモールによる影響、奉還町商店街の基盤整備事業、コミュニティ施設「りぶら」の開設・用途・目的・利用状況などについて、岡山駅西口の開発について、中小企業庁の「がんばる商店街77選」のアイデア部門に選出されたこと、地域連携イベントの奉還町マップの作成・浪漫ティック奉還祭（7月の最終土曜日開催）・ウエストサイドミキサー（奉還町アート商店街、8月に開催）、年間

イベントとして「奉還百縁日」・「土曜夜市」・「ハロウィーン祭り」・「奉還町腕ずもう大会」・「歳末イベント」・「音楽イベント」・サッカーチームの「ファジアーノ応援イベント」などの開催について、岡山市の商店街連合会のイベント「ゴールデンフェスタ岡山」・「ええじゃないか岡山大誓文払い」とのかかわり、地元の岡山工業高校や大学の先生・小学校・中学校などの教育機関や企業・事業所・近隣の商店街との連携、今後の商店街の在り方、12月までにコンセプトを打ち出していくこと、マスコミへのアピール、イベントに頼らないで人手を創出する工夫、などについて詳細な説明があった。

質問では、学校を巻き込んだ事業について、ウエストサイドカーニバルについて、ご当地アイドルについて、岡山県立工業高校との関係、マスコミとの関係、商工会青年部・婦人部について、「りぶら」の利用状況・カルチャー教室について、地権者と今後のコンセプトについて、空き店舗について、土曜夜市のクレーム・今後の課題について、などの質疑応答があった。

その後、現地を理事長とともに見学させていただいた。

古賀市と比較するとかなりのイベントの開催回数が圧倒的に違いがあり、何かをやり続けることが大事だという岸理事長からの話を

聞けば、成功している事例を目の当たりにすれば納得はする。が、中心者の決意と情熱と行動力が必要のため、古賀市においてはまず、人材の確保とアドバイスが必要であり、あくまでも事業者が中心となり自主的な運営する組織の強化に力を入れるべきだろうと考える。特に、商工会青年部や料飲店組合青年部などの各種団体の若手グループの活用が重要になってくるのではと感じた。

参考様式

<u>支出内訳書の番号 2-D</u>	
調査研究報告書	
1 名称	岡山県立図書館視察
2 目的	8年連続入館者数日本一の施策について視察するため
3 実施時期	平成26年8月7日(木) 13:30~15:00
4 実施場所	岡山市丸の内 県立図書館
5 参加者	船越、飯尾、姉川、西尾、芝尾
6 その他	三村館長より説明を受け、館内の施設も見学させて頂いた。 (別紙報告書あり)

岡山県立図書館視察研修

平成26年8月7日（木）13時30分～15時

8年間連続都道府県図書館来館者数全国1位の状況について

三村館長より、自己紹介と歓迎のあいさつの後、図書館の概要について説明があった。5課12班の組織体制について、本の種別に応じてカウンターを設け専門の担当者を配置していること、職員の体制について、司書の内訳と市町村図書館との人事交流について、これまでの経緯と施設の内容、初期の移転建設計画の際に反対運動があったこと、施設規模、有料の駐車場に移行したことについて、図書収蔵能力、施設内の有料貸出施設について、防災対策と大災害時における県庁のバックアップ施設としての位置づけ（県庁の目の前に位置しているため）、予算について、入館者数・開館日数・個人貸出冊数・インターネット予約・登録者数について、蔵書冊数・重点収集資料・児童書全点購入・図書館ネットワークシステムについて、などの詳細な説明があった。

質問では、レファレンスサービスについて、一階の喫茶コーナーの民間委託について、全国1位の入館者数の継続と広報とマスコミ

との関係について、イベント開催の状況について、アンケートの実施の内容について、開館時間と入館者数との関係について、入館者数が多い秘訣・ノウハウについて、などの質疑応答があった。

その後、館長の案内で、地下の駐車場から、各階の隅々まで見学をさせていただいた。

古賀市の図書館として考慮できるところは、三村館長が語ってくれた資料の充実、専門の担当者の育成・配置、資料の展示を丁寧に行っているところにヒントがあるのではないかと感じた。また、開館時間については、必ずしも長く開けていることで効果が上がるとは思われないとの言葉が印象的だった。むしろあけている時間の中でいかに市民に来ていただけるような魅力づくりをするかのほうが効果が上がるのではと思われた。

参考様式

支出内訳書の番号 3-A	
調査研究報告書	
1 名称	北海道ニセコ町視察
2 目的	ニセコ町のまちづくりについて学ぶため
3 実施時期	平成26年10月16日(木) 10:00~12:00
4 実施場所	ニセコ町役場
5 参加者	姉川、芝尾、助村、(志免町議)、岡本(宗像市議)
6 その他	全国的にも有名なニセコ町のまちづくりを学んだ。ニセコ町長自ら、気さくに話をされた。(別紙報告書あり)

【視察報告書】

平成26年10月20日

○視察日

平成26年10月16日(木) 10:00~12:00

○視察地

北海道虻田郡ニセコ町役場

○視察対応者

企画環境課課広報広聴係 馬淵係長

ニセコ町長 片山 健也町長

○視察目的

全国で初の「まちづくり基本条例」を施行したニセコ町の先進的な取り組みを視察するため

○参加者

姉川さつき、芝尾郁恵、助村千代子(志免町議) 岡本陽子(宗像市議)

○視察内容

ニセコ町まちづくり条例

平成13年4月に『住むことが誇りに思えるまちづくり』を基本構想にニセコ町まちづくり条例を全国で初めて施行。

まちづくりの2大原則を、住民参加と情報共有とし、町の企画立案、実施などそれぞれの過程において、町民の参加を保障し、町民がまちづくりに関する情報を共有する事を基本に進めなければならない。町民の責務として、まちづくりの活動において自らの発言と行動に責任を持たなければならない。などと示し、町民と共にまちづくりを進めている。条例には「見直し条項」が設けられ見直す箇所があるなしにかかわらず4年を超えないうちに条例全体を見直すこととされ、実際、条例制定から2度、より具体的な条例に改正している。

行政の情報は、町民の共有財産との認識で、平成16年にはファイリングを基本とする文書管理条例を整備した。

文書管理(ファイリング)システムで、情報の検索性を高め、文書の私物化を排除、職員が文書の検索に費やす時間も減り、行政コストも大幅に削減された。会議録、委員会会議録など、項目別に引き出しに細かく仕分けされ、町民にも、わかりやすく公表されている。職員の机の上はパソコンのみで整理整頓が行き届いている。また、厳しい財政状況を正確に町民と共有するため、「財政危機突破計画」を策定、財政運営の進捗状況については、毎年町民に報告される。

町の予算は本来、町民のもの行政には予算を説明する責務があるとの考えから、予算説明書「もっと知りたいことしの仕事」を発行して、毎年5月に、全世帯に配布している。予算説明書の中身も道路工事の場所を写真で示すなど具体的

でわかりやすい。町民アンケートでは、61%の方が「役に立っている」と回答されているとのこと。

平成8年から、担当課長が説明者になり、現状や課題を知らせ町民と議論する「まちづくり町民講座」を開催。平成25年度には通算135回を超えた。

住民参加の取り組みとして

- ・各種委員の公募、条例や計画の制定、改廃する際の住民参加の義務付け
 - ・事業ごとの住民検討会議（道の駅、温泉施設など）
 - ・住民自らの事業企画、運営（学習交流センター「あそぶっく」の運営）など
- また、未成年者の住民参加の保証として、子ども会議を平成13年度から開催、小学校5年生から中学3年生までの公募の児童生徒（定員10人）で町議会と同様に毎年行っている。

【感想】

・全国初の「ニセコまちづくり条例」には見直し条項が設けられ、作りっぱなしの条例でなく、よりよいものに改善されているところが、素晴らしいと感じました。何より一番驚いたのは、町民を中心に考え、行政と町民の距離の近さ、徹底した情報の公開・共有です。古賀市の10分の1以下の約5,000人という人口だから可能なこともあるかもしれませんが、町の予算は本来、町民のもの行政には予算を説明する責務があるとの考えを見事に実現しているところは見習うべきと思いました。

また、さまざまな条例案策定時から町民の意見を十分に聞くという土壌、情報を共有している町民は言いつぱなしの要望ではなく、根拠を持つての提言をすることが身につけてきているそうです。

また、全世帯に配布されている予算説明書「もっと知りたいことしの仕事」は「お伝えします。今年の仕事とお金の使い方」とし、全200ページもある予算書で、すべての予算が名称、金額、目的、用途など、図示や地図、写真なども使い詳細に示されてとてもわかりやすいもので、町民も、これなら理解して頂いているなど納得しました。予算編成時の各担当部署の町長への予算査定ヒアリングまでも公開し、「町民に知ってもらうことが何よりも重要で必要」とのスタンスは見事だと思いました。また、より仕事の効率を上げるための、取り組みのひとつとして「机の上は滑走路のように」とのことで、ほとんどの職員の机の上はパソコンのみで、整理整頓が徹底されていました。

片山町長自ら、町長室に招いて下さり歓談。町民を大切に自由な発想によって小さい町に十分な夢を感じせるまちづくりをしている行政の姿勢は模範になるものと感じました。ニセコの町の景色、雰囲気、人の温かさ本当に魅力のあるまちづくり、それらの全てが人口増に繋がっていると思い古賀市のまちづくりに大いに参考になる視察となりました。

以上

参考様式

<u>支出内訳書の番号 3-B</u>	
調査研究報告書	
1 名称	日本女性会議2014札幌大会参加
2 目的	会議に参加し、男女共同参画社会にむけて、現状や課題について学ぶため
3 実施時期	平成26年10月17日(金) 13:00~15:00
4 実施場所	北海道札幌市札幌コンベンションセンター
5 参加者	姉川、芝尾、助村千代子(志免町議)、岡本陽子(宗像市議)
6 その他	基調講演など(別紙報告書あり)

【視察報告書】

平成26年10月20日

○視察日

平成26年10月17日（金）13：20～17：45

○視察地

札幌市白石区東札幌6条1-1-1 札幌コンベンションセンター

○視察目的

日本女性会議2014札幌に参加し、男女共同参画社会に向けた先進事例を学ぶため

○参加者

姉川さつき、芝尾郁恵、助村千代子（志免町議）岡本陽子（宗像市議）

○視察内容

日本女性会議2014札幌

開会式（13：00～13：20）

大会会長の上田文雄札幌市長などが挨拶にたち、北海道で初めての女性会議となる、札幌大会のテーマ「未来の景色はわたしたちが変える」にあるとおり男女共同参画社会の実現が全道に広がり、全国に広がることを期待したい等熱く語られた。札幌市議会高橋議長が、札幌市議会の女性議員の割合は25%と全国平均の10%を大きく超え、女性議員が大変活躍していること、奥様がきき腕を骨折され、2カ月間、食事の準備、子どもの世話をし、完治したいまでも男女共同参画を実践、家事の3割をこなしているとの話をされたことが印象に残った。

基調講演（13：20～13：50）

・「日本の男女参画施策の現状と今後の課題について」と題し、内閣府大臣官房審議官男女共同参画担当、華房 実保さんより基調講演があった。

はじめに、今なぜ女性の力が重要なのかについて説明された。

現在、少子高齢化によって、労働人口がどんどん減ってきている現状の中で、日本では出産や結婚を機に約6割の女性が仕事を辞めている。このために、労働力率がM字になり、就職希望者は315万人もいるとのこと。今後、女性の感覚、女性の目線を取り入れることで、商品開発やサービス部門、おもてなしの分野で大いに活躍が期待される。

フランスやスウェーデンなどでは、高労働率が高出生率に繋がっている。

政府は2020年までに指導的地位に占める割合を30%程度、25歳から44歳の就業率を73%に設定している。管理職比率をあげる努力をしているが、

今のところ2012年度は、6, 9%。2013年度も7, 5%に留まっている状況。2014年6月に閣議決定された「未来への挑戦」の具体的な取り組みこれらの施策として

- ① 育児休業給付を50%から67%へ引き上げる。
- ② 放課後子ども教室現在600カ所を10000カ所に増設
- ③ 女性活躍促進を推進させるための法整備
- ④ 女性のチャレンジ応援プランの支援策等を取りまとめ情報発信する「女性の活躍見える化サイト」を開設。

これらの施策を着実に確実に進めていくには、全国的なムーブメント今回の女性会議のような熱気が不可欠。

また、女性の活躍をさらに加速するためには、社会的影響力のある男性リーダーによる積極的な行動と発信が大きな意味を持つ「女性の力」を最大限発揮できる活力ある社会、男性も女性もすべての人にとって暮らしやすい社会を目的に、女性の活躍躍進に向けた取り組みをさらに、力強いものにしていくことが必要だと語られた。

《シンポジウム・分科会》(14:15~16:45)

「働くオンナのサバイバル」～女性が社会で活躍するために必要なこと～

*コーディネーター・上野 千鶴子(東京大学名誉教授・認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク理事長)

*パネリスト ・伊藤好美(フォトグラファー)・下郷沙季(札幌学生ユニオン代表)・新田和代(社会労務士)・山本亜希子(株式会社エルアイズ代表取締役)・起業家、学生、社会労務士などの仕事や役割を持ち、いきいきと社会貢献している4人の女性が、シンポジニストとして、女性が社会で活躍するために必要なことについて討論した。

日本の女性の国際的地位は、3年前の98位から、毎年下がり、去年は104位となった。今、女性の10人に6人は非正規労働者、一昔前は、パートのおばさんという結婚している中高年の女性が家計を補助のための非正規労働だったが、今は、新卒の若い女性も非正規労働市場に投げ込まれる状況にある。非正規労働の大きな問題は、賃金が低いこと。

政府の家計経済研究所の調査では、正規雇用の女性の方が結婚確立も出産率が高いという結果がでた。

女性に働きながら子どもを産んでほしかったら、まず第一に安定雇用を与えること。第2に長時間労働の廃止。この二つが切り札となるが、今の政権は誰も望んでいない「3年間抱っこし放題育休」など提案している。働くお母さんが望んでいるのは、育休明けの保育の充実である。また、育休を取ってもマミートラックにはまらないような配慮も足りない。

行政書士として努めた事務所は男尊女卑の世界で、お茶くみ、掃除は女性の仕事。その他、パワハラ、セクハラなどなど、耐え切れなく退社後、その時の経験を活かし、社会労務士となった。男性は能力に関係なく昇進できるが女性はよほど能力が高くて、会社に一生を捧げる覚悟がないと昇進のチャンスすらないような気がする。会社は対外的にはダイバーシティだとか女性活躍などと言っているが、実態は、職場の花、男性の補佐役、雇用の調整弁としての扱いは昭和の時代と変わっていないとの声も多い。

日本で政治家など意思決定する場に3割以上の女性の登用を目指しているが、増えないわけは、女性の候補者が増えないこと、女性の壁は当選にあるのではなく、立候補にある。その壁は、出しゃばるな、目につくな等、家族、近隣、コミュニティなどの抵抗勢力。以前からものごとを決める立場に女性を立たせろと要求してきた、そういう動きに追い風になる場がこの日本女性会議である。

《感想》

今回のパネリストは社会人として働く中で、女性として窮屈な思いや、生きづらさを感じながら、それらをばねに、それぞれの分野で活躍をされている素晴らしい方々だと感心をさせられました。特に学生の立場で、自身のブラック企業でのバイトの経験から、同じような被害を受けながらも労働基準法を知らない学生たちのために、ブラック企業の撲滅をめざし、札幌学生ユニオンという学生中心の労働組合を立ち上げた下郷さんの着眼点には感心をさせられました。地域の活動等においても、暗黙の了解になっている男女の固定的役割分担を見直し、性別に関係なく人々が助け合って地域づくりをしていくことが大事だと思いました。男女共同参画社会が進めば、自然と女性が働きやすく、子育てもしやすく、女性が活躍できる社会環境が整うのではないかと思います。

以上

【視察報告書】

平成26年10月20日

○視察日

平成26年10月18日(土) 9:30～11:30

○視察地

札幌市白石区東札幌6条1-1-1 札幌コンベンションセンター

○視察目的

日本女性会議2014札幌に参加し、男女共同参画社会に向けた先進事例を学ぶため

○参加者

姉川さつき、芝尾郁恵、助村千代子(志免町議) 岡本陽子(宗像市議)

○視察内容 日本女性会議2日目

【特別講演】

講師：大平まゆみ(バイオリニスト・札幌交響楽団コンサートマスター)

「100歳まで弾くからね～母として、コンサートマスターとして～」

・3年半前の東日本大震災の時、当時83歳のお母さまの安否がわからなかった時に何も手に付かず生きた心地もしない中、脳裏を2つの曲がずっと流れていた。1曲はお母様との思いで曲、小学校の校歌。もう1曲は、10年前に他界したお父様との思いでの曲「春の小川」だった。

また、ある19歳の青年らが、津波で流され、助けを待つ間、雪が降り寒く諦めそうになった自分たちの気持ちを、励ますために大きな声で歌を歌い続け助かることが出来た。「ああ音楽って本当に素晴らしい」人生において困った時には、音楽がすごい力になることを実感。

音楽を通して能力を最大限に引き出す時間の使い方や、年間250回ものステージを支える「気」の使い方など多彩な経験から、バンドリーダーとして、母親として、幾つになっても自分らしく輝く生き方の大切さを学んだ。

時折、バイオリンの演奏を交えての講演は、本当素晴らしかった。

講師：山口 香(筑波大学体育系准教授・柔道家)

「強くやさしい社会を実現するために」～次世代へのメッセージ～

・「男性社会」の風潮が、まだ色濃く残っていた柔道界において、先駆者として活躍し、昨今、体験した体罰問題などを通して、自ら人生を切り開いた歩み。

その道のりから得た経験は、性別や年齢などにとらわれず自分らしく生きる事

ができる。「男女共同参画社会」の実現に向けて大切なヒントとなる講演だった。

【感想】

男女共同参画を考える時に大切なのは、男や女と言う性差ではなく、人間として目的を持ち自分らしく輝く、自分にしかできない人生を選択するという生き方を決めて行くことだと感じました。

世の中には、性差だけでなく様々な差、差別は存在します。いかに自分の中に、確固たる信念と夢を持ち、人と比べない生き方を選択することが大切であると感じました。今回の二人の講師のような生き方が実践できたらどんなに素晴らしいだろうと感じました。

以上